

環境省同時発表

平成29年7月21日

フロン排出抑制法に基づくフロン類の再生量等及び破壊量等の 集計結果(平成28年度分)を取りまとめました

平成27年4月に施行された「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」(以下「フロン排出抑制法」という。)に基づき、第一種フロン類再生業者は「フロン類の再生量等の報告」を、フロン類破壊業者は「フロン類の破壊量等の報告」を毎年度、主務大臣に対し行うことになっております。

今般、経済産業省及び環境省は、第一種フロン類再生業者及びフロン類破壊業者から平成28年度分の報告を受け、その集計結果を取りまとめました。

フロン排出抑制法の円滑な施行により、フロン類の回収・再生・破壊等が一層促進されるよう、環境省とも連携しつつ引き続き取り組んでまいります。

【フロン類の再生量】

1. 集計結果の概要[表1・表2・図1・図2参照]

第一種フロン類再生業者が再生したフロン類の再生量は約1,248トンとなり、平成27年度(約965トン)と比較して29.4%増加となりました。

フロン類の種類別に見ると、CFC(クロロフルオロカーボン)が約30トン、HCFC(ハイドロクロロフルオロカーボン)が約868トン、HFC(ハイドロフルオロカーボン)が約350トンとなり、平成27年度と比較してCFCの再生量は15.1%減少、HCFCの再生量は18.5%増加、HFCの再生量は78.0%増加しています。

2. 引取量及びフロン類破壊業者への引き渡し量[表1参照]

第一種フロン類再生業者が引き取った第一種特定製品から回収したフロン類は約1,352トンとなり、平成27年度(約1,042トン)と比較して29.8%増加となりました。再生されずにフロン類破壊業者へ引き渡したフロン類は約35トンとなりました。

表 1 フロン類の再生量等の集計結果(平成 28 年度分)

(単位:kg)

	CFC	HCFC	HFC	合計
年度当初の保管量	14,293	61,485	20,016	95,794
引き取った量 【第一種特定製品(業務用冷凍空調機器)】	31,984	946,143	374,142	1,352,269
再生した量	29,968	868,440	350,001	1,248,409
フロン類破壊業者に引き渡した量	580	20,203	14,033	34,816
年度末の保管量	10,525	104,533	23,092	138,149

※小数点以下を四捨五入したため、表中の数字の和は必ずしも合計欄の値に一致しない。

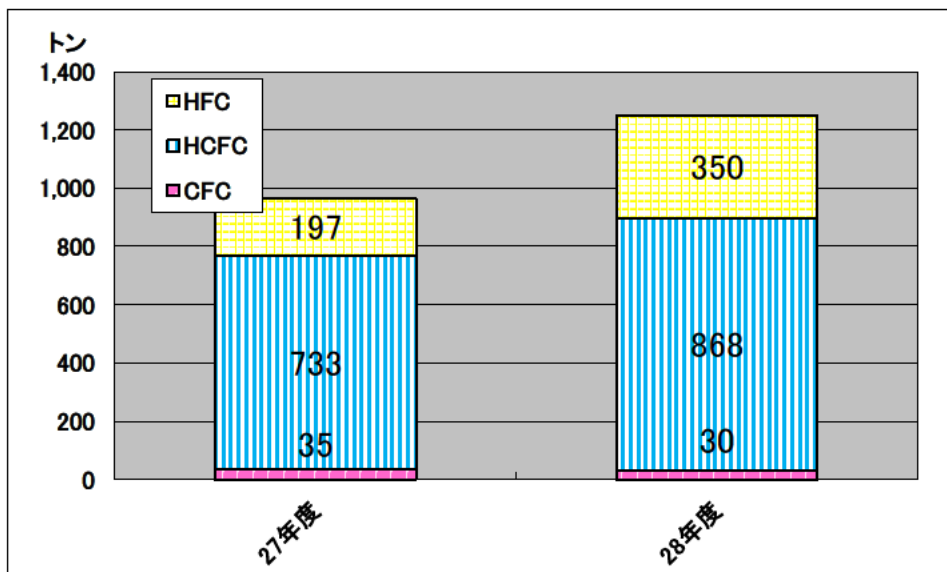


図 1 フロン類再生量の推移

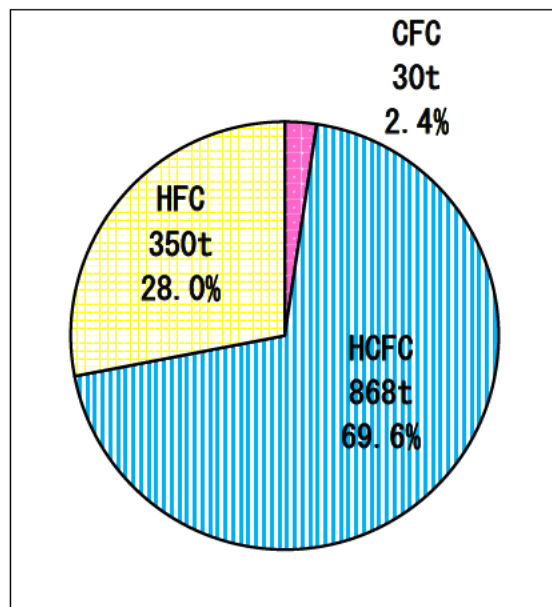


図 2 フロン類の種類別再生量

表 2 フロン類の種類別再生量の内訳

(単位:kg)

CFC		HCFC		HFC	
R11	29,968	R22	822,304	R32	18
R12	0	R123	46,135	R134a	98,397
R502	0			R404A	28,974
				R407C	84,973
				R410A	137,639
合計	29,968	合計	868,440	合計	350,001
CFC、HCFC、HFC の再生量合計					1,248,409

※小数点以下を四捨五入したため、表中の数字の和は必ずしも合計欄の値に一致しない。

【フロン類の破壊量】

1. 集計結果の概要[表 3・表 4・図 3・図 4 参照]

フロン類破壊業者が破壊したフロン類の破壊量は約 4,784 トンであり、平成 27 年度(約 4,819 トン)の破壊量と比較して 0.7%の減少となりました。

フロン類の種類別に見ると、CFC(クロロフルオロカーボン)が約 150 トン、HCFC(ハイドロクロロフルオロカーボン)が約 2,363 トン、HFC(ハイドロフルオロカーボン)が約 2,268 トンであり、平成 27 年度と比較して CFC の破壊量は 20.8%減少、HCFC の破壊量は 4.1%減少、HFC の破壊量は 4.9%増加しています。

2. 特定製品別の引取量[表 3 参照]

フロン類破壊業者が引き取ったフロン類の量をフロン排出抑制法による特定製品別に見ると、第一種特定製品(業務用冷凍空調機器)から回収したフロン類^{※1}は約 4,082 トンで、平成 27 年度(約 4,135 トン)と比較して 1.3%減少、第二種特定製品(自動車製造事業者等及び指定再資源化機関)から回収したフロン類^{※2}は約 689 トンで、平成 27 年度(約 720 トン)と比較して 4.4%の減少となりました。

※1 フロン排出抑制法に基づき、平成 27 年度分から「第一種フロン類再生業者からの回収分」が追加となりました。

※2 平成 26 年度まで「カーエアコン」と標記していたものです。フロン類の回収は、平成 17 年 1 月から「使用済自動車の再資源化等に関する法律」に基づいて実施されています。

表3 フロン類の破壊量等の集計結果(平成28年度分)

(単位:kg)

	CFC	HCFC	HFC	その他	合計
年度当初の保管量	8,474	147,806	71,990	134	228,403
第一種特定製品 (業務用冷凍空調機器)	142,946	2,362,032	1,573,545	3,282	4,081,805
第二種特定製品 (カーエアコン)	5,332	0	683,417	0	688,749
引き取った量の合計	148,278	2,362,032	2,256,962	3,282	4,770,553
破壊した量	150,304	2,362,678	2,268,146	3,037	4,784,166
年度末の保管量	6,448	147,159	60,806	378	214,791

※小数点以下を四捨五入したため、表中の数字の和は必ずしも合計欄の値に一致しない。

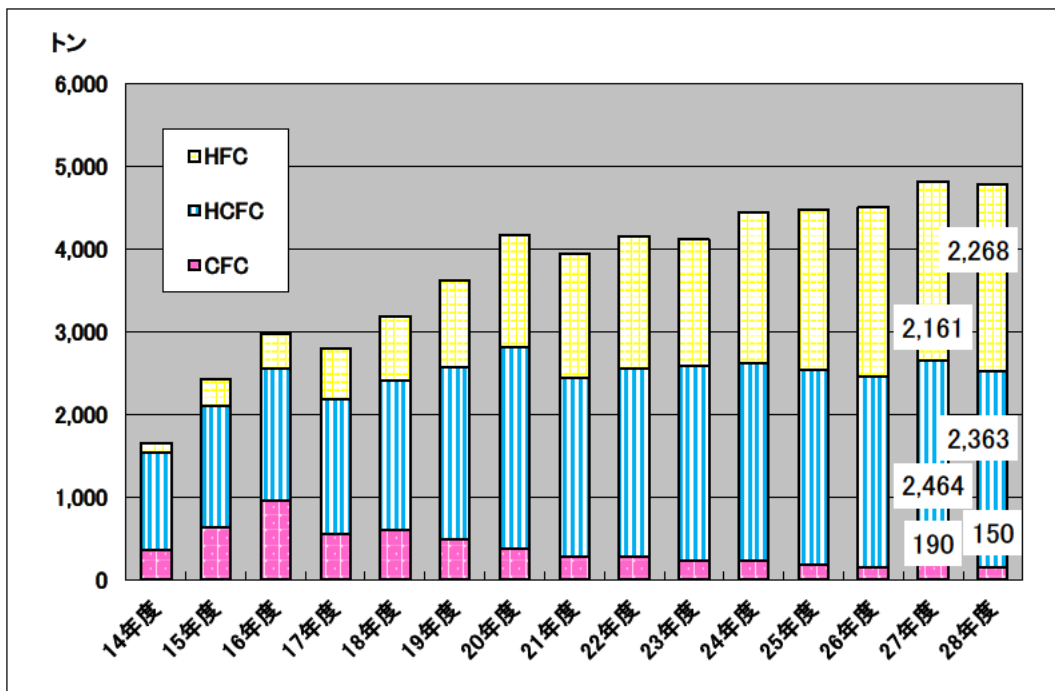


図3 フロン類破壊量の推移

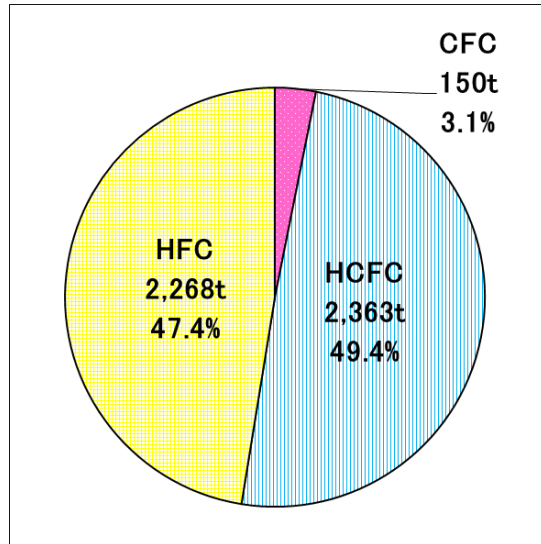


図4 フロン類の種類別破壊量

表 4 フロン類の種類別破壊量の内訳

(単位:kg)

CFC		HCFC		HFC		その他
R11	115,914	R22	2,332,720	R23	2,938	
R12	21,874	R123	27,691	R32	27,879	
R13	802	R124	25	R125	1,196	
R113	2,737	R141b	178	R134a	810,742	
R114	493	R401A	324	R143a	205	
R500	164	R401B	12	R152a	107	
R501	5	R402A	8	R236fa	71	
R502	8,315	R403A	56	R245fa	4,829	
		R403B	573	R404A	170,728	
		R408A	8	R407A	50	
		R409A	263	R407C	451,310	
		R412A	234	R407D	363	
		R509A	587	R407E	6,314	
				R410A	790,322	
				R413A	22	
				R417A	301	
				R422A	91	
				R437A	46	
				R507A	264	
				R508A	365	
				R508B	4	
合計	150,304	合計	2,362,678	合計	2,268,146	3,037
CFC、HCFC、HFC の破壊量合計						4,784,166

※小数点以下を四捨五入したため、表中の数字の和は必ずしも合計欄の値に一致しない。

【今後の予定】

第一種特定製品から回収したフロン類の回収量等(平成 28 年度分)について、経済産業大臣及び環境大臣は、都道府県知事より第一種フロン類充填回収業者による回収量等の通知を受け、全国集計結果を取りまとめた上で本年中に公表する予定です。

(本発表資料のお問い合わせ先)

製造産業局化学物質管理課

オゾン層保護等推進室長 皆川

担当者:大谷、横山

電話:03-3501-1511(内線 3711~5)

03-3501-4724(直通)

03-3501-6604(FAX)